

2014年4月22日

## Press Release

### 黒田精工株式会社からの一部ツールホルダ事業譲渡について

2014年3月26日、エヌティーツール株式会社（代表取締役社長 内藤 祐治、愛知県高浜市芳川町 1-7-10、以下エヌティーツール）と黒田精工株式会社（代表取締役社長 黒田 浩史、川崎市幸区堀川町 580-16、以下黒田精工）は、黒田精工が運営する自動車メーカー専用ツールホルダ、汎用機用ホルダ及び専用機用ツールホルダ事業をエヌティーツールに譲渡することで合意致しました。

黒田精工がツールホルダ事業からの一部撤退を2013年9月30日に表明したことを受け、両社は10月から事業譲渡交渉を進めてまいりました。今後は、上記黒田精工製品の既存ユーザー様への製品供給やサポートをエヌティーツールが引き継ぐこととなります。

エヌティーツールは多くの自動車関連メーカー様とお取引をさせて頂いており、これらメーカー様からの強い要望を受けて黒田精工からの事業承継を決断致しました。このような他社からの事業承継は設計・生産・販売のすべてにおいて細心の配慮が必要であり、容易ではありませんが、エヌティーツール社長 内藤は「多くの黒田製品は既にお客様の生産ラインで採用されているものであり、お客様のラインを止めないことはメーカーの使命である。」とし、スムーズな承継が行われるよう最大限の取り組みをする方針です。今後、黒田精工より譲渡対象製品の技術伝承を受けながら、エヌティーツールの規格品に置き換えが可能な部品や製品がないかを随時確認し、設計見直しを行うことで、生産の効率化を図る計画です。

譲渡対象となっている黒田精工製品は多種ありますが、お客様への影響を最小限に留めるために、まずは自動車産業で多く採用されているフローティングホルダ、フローティングタップホルダ、特殊用途用のリセッシングツール、専用機用ツールホルダの製造・販売体制を優先的に確立する予定です。黒田精工からの譲渡対象製品の販売額は、初年度2億円程度を見込んでおります。

エヌティーツールは今後もお客様の要望に幅広くお答えできるよう、商品ラインの拡充に努めてまいります。